

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	めだかのがっこうプラス清水校		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員(保育士・理学療法士・作業療法士)が支援に関わっている。	<ul style="list-style-type: none"> 各専門職が活動プログラムに関わっている。 各利用者のアセスメントを各専門職の視点で行っている。 月1回、各事業所の理学療法士・作業療法士が集まり会議を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 会社全体だけでなく、各事業所に合わせた具体的な支援を行っていく。
2	プロ家庭教師のジャンプとの提携により、より細かな学習支援と移行支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル教材を的確に用いた学習支援を行っている。 中学受験、高校受験など先々の移行に向けた進路相談を行い、将来の選択肢の幅が広がるようにサポートしている。 月1回プロ家庭教師のジャンプと会議を行い、学習支援の質を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な進路相談会を実施していく。 可能な限り学校と学習内容について情報共有していく。

3	ご利用時のお子様の様子をより細かく情報発信している。	<ul style="list-style-type: none"> ・専用のアプリを使用することで、ご利用時のお子様様子を写真、コメントで細かく情報提供している。 ・アプリを使用することで、ご家族がいつでも様々な情報を確認できるようにしている。 	・アプリに頼り過ぎず、日々の密な情報共有を徹底していく。
---	----------------------------	---	------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や保護者同士の交流機会の提供不足	・「本人支援」「移行支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」についての取り組み不足になっていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは長期休暇時の活動に地域交流の場を設けるよう計画に盛り込んでいく。 ・保護者交流については、保護者のニーズを確認して、慎重に計画の立案をしていく。
2			
3			

事業所における自己評価結果(公表)

令和7年2月実施

事業所 めだかのがっこうプラス清水校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		・学習の部屋と遊びの部屋がわかれている。 ・遊びスペースと学習スペース、静かに過ごす場所などを色テープで区切っている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	1	3			・ギリギリでまわしている状態。 ・人が足りないと感じる事がある。 ・送迎に時間をとられているので十分とは言えない。 →余剰人員を積極的に入れています。
業務改善	③	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1	1	・「もっとこうなったらいいよね」と普段から話せていると思う。	
	④	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・HUG、ライン等を活用、共有。	
	⑤	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1			
	⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2			
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		1	・都度困りごとを共有、相談し、月1回会議も催されている。	
適切な 支援の 提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		・HUGを利用している。	
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・活動がかぶらないように話し合いを必ずしている。 ・立案後すぐに問い合わせなどをしてスムーズにできていると思う。	
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		・個別に支援計画準拠のシートと調書を作成、二カ月毎更新している。	
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				・時間が少なく平日は難しいこともある。

	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		・不足資料などのチェック、運営に必要な備品を事前に準備している。		
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3		・会議という形ではできていないが情報は共有している。		
	⑯	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・調書、シート類の更新。 ・気づいた事は職員間で共有している。		
	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2			・入会時学習調書と異なる支援目標の子がいる。	
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	2				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1				
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	2			・送迎予定の共有不備が多いように見える。（保護者の覚え違いや学校プリントのミス等）	
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	1		・今は医療的ケアが必要な子どもがいない。	
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		2	2			・保育園及び幼稚園との共有は支援員はしていない。できるならしたい。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1			
	㉔	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	3				
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1			・送迎で会った際、その日の様子をほめて伝える。HUGに乗り越えたことを書く。	・HUGを通じて伝えてはいるが、見ない方や仕事をしている親にはなかなかできていない。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4				
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1				
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・LINE、HUGに届いた際、適且。普段から自宅でも実施可能なトレーニング等HUGに率先して残す。		
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1			・謝罪及びどのように対応したかすぐに伝えている。	
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4					

	③①	個人情報に十分注意しているか	4			・個人の特定され得る写真を載せず、個人名を出さない。一律「お友達」とする。	
	③②	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
非常時等の対応	③③	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1			
	③④	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				
	③⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2			
	③⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1			
	③⑦	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1			
	③⑧	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

令和7年2月実施

事業所 めだかのがっこうプラス清水校

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	1				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1				
適切な 支援の 提供	③ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	18	1				
	④ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18			1	・いつも色々計画ありがとうございます。	
保護者への 説明等	⑤ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19					
	⑥ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1				
	⑦ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	3				
	⑧ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	2				
	⑨ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19				・育児に関する特性への助言があるとありがたいです。 ・特性理解が深まってくるとありがたいです。	・今後はお子様の様子をより密に共有し支援をいたします。
	⑩ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19					
	⑪ 個人情報に十分注意しているか	18	1				

非常時等の対応	⑫	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	2		1		
	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	8			・月の出席日数が少ないため、認識不足で他の日に訓練が行われてましたら申し訳ございません。	・毎月の活動のお知らせにて定期的に告知しております。
満足度	⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	19				・休日のイベントなど色々と考えてくださり、とても楽しんでいます。	
	⑮	事業所の支援に満足しているか	19				<ul style="list-style-type: none"> ・勉強面、先生方、子ども同士の関わり方丁寧に対応して頂けていると思います。 ・HUGで様子も分かりやすく教えて頂けて、勉強の進み具合も丁寧に掲載頂けてますので、通所中の様子を把握でき安心してお預けすることが出来ます。 ・家ではどうしても学習面の対応が難しく大変助かっている。 ・長期休暇中は、様々な体験等を行ってくれ自信につながり嬉しい。 ・学習面等たくさん支えていただきありがとうございます。今後も利用させていただきます。 ・集団の中なので個別に対応することは難しいことは理解していますが、個々の特性の理解、本人の困りごとの理解が深まるとありがたいです。 ・利用等の変更をお願いした時にうまく伝わっていない時があった。 	・ありがとうございます。今後もスタッフ一同全力でサポートさせていただきます。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。